

血圧変動性と心電図との関連

Relationship between blood pressure variability and electrocardiogram

窪菌 琢郎

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学

【背景】 血圧変動性が脳血管疾患の予後や認知症の発症及び進展予測に有用であることが知られている。しかし、血圧変動性と心電図の関連については明らかではない。

【目的】 血圧変動性と心電図の関連を調査すること

【方法】 2019年に開催された垂水市における地域コホート研究に参加し、家庭血圧測定に同意した417例を対象とした。全例ともオムロンヘルスケア社製HEM-9700Tを用いて家庭血圧を測定した。地域コホート研究受診月に8回/月以上家庭血圧を測定していた366例を解析に用いた。血圧変動性は地域コホート研究受診月の朝の収縮期血圧の日間変動係数(CV)を用いて、地域コホート研究の際に施行した心電図との関連を調査した。

【結果】 CVの平均値は $0.060 \pm 0.017\%$ であった。単回帰解析において、CVは、左室肥大の指標であるRV5+SV1と有意な正の相関関係を認めたが($R = 0.41, P < 0.05$)、PR間隔、QRS幅、QTcとは関連を認めなかった。RV5+SV1を目的変数、性別や年齢、降圧薬の有無、収縮期血圧、CVを説明変数とした重回帰解析において、CVはRV5+SV1の独立した関連因子であった($P = 0.0040$)。

【結語】 家庭血圧における日間変動係数は心電図で求めた左室肥大の指標であるRV5+SV1と独立した関連があることが明らかとなった。